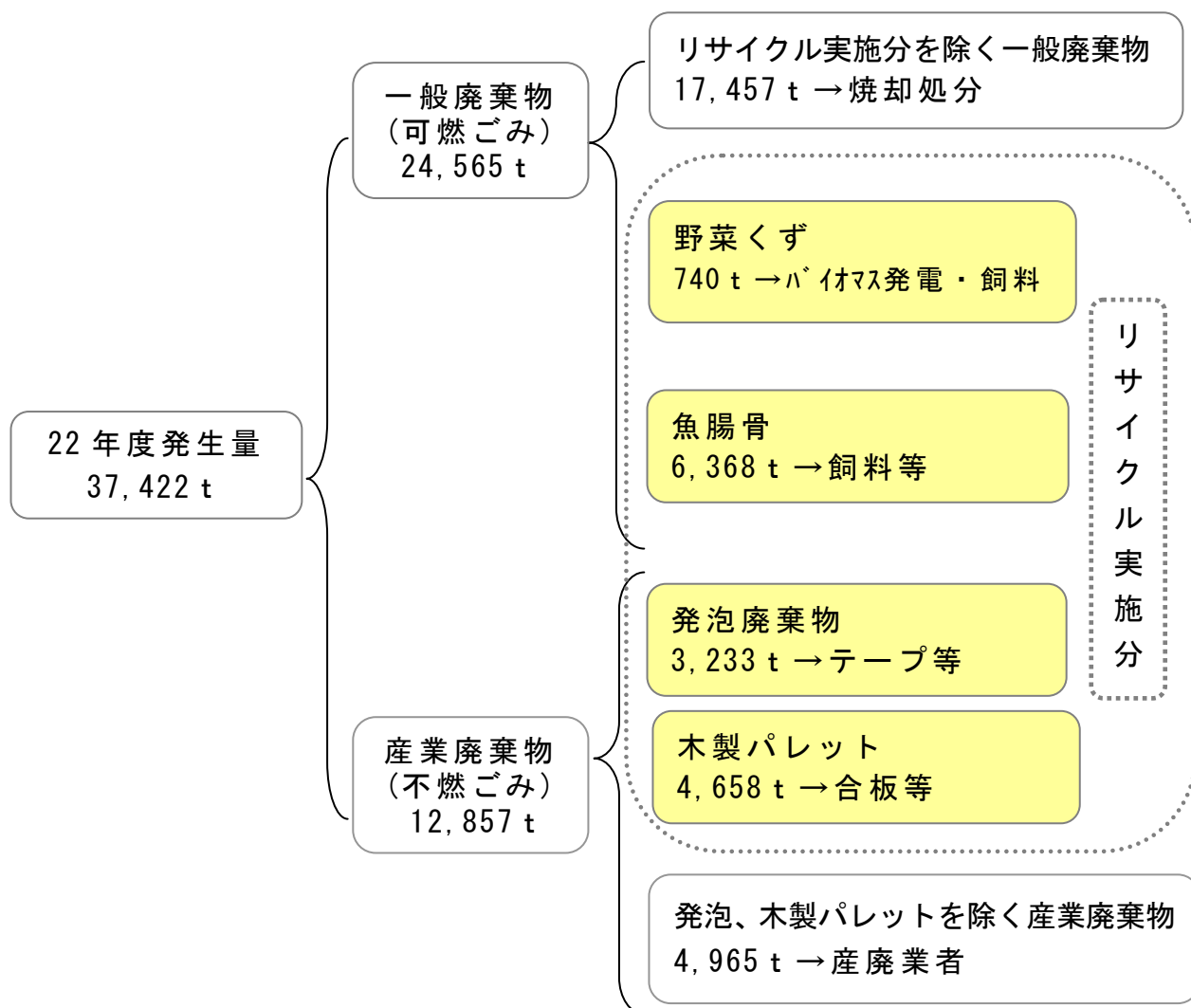


廃棄物の処理及びリサイクルの現状と課題



○一般廃棄物は24,565トンであり、このうち最終処分場で焼却処分されるごみは全体の約71%、17,457トンです。野菜くずは740トン、魚腸骨は6,368トンがリサイクル業者によって再生利用されています。

○産業廃棄物は12,857トンであり、木製廃棄パレット4,658トン、発泡廃棄物3,233トンについては、再生利用されています。発泡廃棄物を除く4,965トンは産業廃棄物処理業者へ持ち込まれ、埋立用材等として利用されています。

○市場で発生した37,422トンのうち、再資源化されているものは、パレット、野菜くず、魚腸骨、発泡廃棄物の15,000トンであり、リサイクル率は約40%となっています。今後、ごみの発生量を抑制するとともに、リサイクル率の一層の向上を図ることが課題となっています。